

平成25年度第1回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成25年7月6日(土) 午前10時30分～12時00分

2 開催場所 中央図書館2階視聴覚室

3 出席者

(委員) 根津委員長 押樋副委員長 村上委員 埴委員 菊地委員
土久委員 奥委員 須賀委員 伏見委員 扇谷委員
(事務局) 石川生涯学習部長 森田館長 齋藤副館長 加藤副主幹
本多係長 三輪副主査

4 議題

(1) 報告事項

- ①図書館協議会について
- ②平成24年度利用統計及び実績について
- ③中央図書館開館30周年記念事業について
- ④平成24年度及び25年度図書館自己点検評価について

5 議事の概要

- ①図書館協議会について、事務局より説明を行なった。
- ②平成24年度利用統計及び実績について、事務局より説明を行った。
- ③中央図書館開館30周年記念事業について、事務局より報告を行った。
- ④平成24年度及び25年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。

6 会議経過

- ①図書館協議会について、事務局より説明を行なった。
意見(質問)なし
- ②平成24年度利用統計及び実績について事務局より報告を行った。
その際に表明された意見(質問)は次のとおり。
(質問)案内サービスの調査回答の増加について、分館も増えているとのことだが、リクエスト受付の窓口とインターネットの比率はどれくらいか。
eレファレンスの件数は。
(回答)インターネットによる受付がおよそ、8,9割である。
eレファレンスは110件受け付けている。
(質問)職員体制は、非常勤職員を含めどうであったのか。司書率は。

(回答) 平成 24 年度の職員配置につきましては、正規職員が 34 名に再任用職員が 2 名、非常勤職員が 106 名である。正職員は全員司書で、非常勤職員も 18 名が司書資格を有しております。

(質問) 浦安の図書館が評価されてきたことには、資料費のほかに職員対応がきちんとなされていることがある。正職員が 50 名ほどいたように思うが、職員数の変化はどうか。今後職員の高齢化や継続性の問題もあろうが、市としての職員政策のようなものはあるのか。

(回答) 10 数年前に 45 名であったが、その後定年等により欠員が生じ、現在 34 名である。職員問題については図書館としても課題として強く認識している。

(回答) 昭和 50 年代後半は、人口の急増もあり、浦安市では毎年 100 人を超える職員採用を行っていた。それらの職員が定年に近付いており、職員構成の問題は、図書館だけではなく市全体の問題でもある。

(意見) 専門的なスキルを持った職員が何人必要で、どんな仕事をするかなど、図書館には司書が必要ということ、アピールしてゆくとよい。

(質問) ベストセラーなどで 3 か月、半年と待たねばならないリクエストのものもある。提供までの状況は把握しているのか、提供までの時間はどれくらいあるのか。また、収集についてはどうなっているか。

(回答) リクエストの多い本のデータはとっている。提供までおおむね 3 か月程度を想定しているが、特別にリクエストが集中する本はそれ以上かかることもある。収集については、リクエスト件数も考慮しながら図書館全体のバランスを考慮して行っている。リクエストの多い本の寄贈の呼びかけも行っている。

(質問) 電子書籍への取り組みはどうなっているか。

(回答) 市の実施計画の中でも図書館の電子書籍の取り組みが位置付けられており、先進図書館の視察など調査研究を進めている。

(質問) 貸出の少ない専門書などは別のところで保存しているのか。除籍については基準があるのか。

(回答) 除籍については浦安市立図書館除籍要綱に基づき除籍をしている。現在、保存スペースが不足していることから、資料的価値のある資料について民間の倉庫に 2 万冊程度の保管を行っている。また、高洲分館の倉庫を活用できるよう検討している。

③中央図書館開館 30 周年記念事業について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(質問) ブックツリーについて学校に協力の依頼はあるのか、本の紹介の記入欄が少ないので記入例などがあるとよい。

(回答) 校長会で協力依頼を行った。記入例については作成してお知らせする。

- (意見) あまり図書館を利用しない方への広報を進めてほしい。ブックツリーは、用紙を学校や、公民館などいろいろな場所に置くことで図書館外のPRをしたほうがよい。
- (回答) 広報うらやすや、HPのほか、市長のプレス発表なども利用し、広く周知する方向で考えている。
- (質問) 夏休みになるが、中央図書館は入り口近くに児童室がありわかりやすいが、分館では奥に児童コーナーがあるところもあり、夏休み中だけでも児童コーナーの一部でも入り口付近に置くことはできないか。
- (回答) 分館においては、入り口付近やカウンター周りよりもメインのスペースに児童コーナーの配置を行っている。棚の移動は困難であるが、おすすめコーナーなどの活用で、親子の利用者に配慮したい。
- (意見) 日の出分館は入り口付近のエントランスの活用は良いアイデアであると思う。にぎやかで活気がある雰囲気になっている。反面、美浜分館は奥では子供が入りにくいのではないか。
- (回答) 美浜分館は利用層の年齢が高いことも配慮している。
- (意見) 美浜分館の児童コーナーは、奥まっているため落ち着くことができ、安全面での配慮もあり良いと思う。
- (意見) 子どもに身近な分館として、安全で楽しい時間が過ごせるような配慮をお願いしたい。
- (意見) 30周年の記念事業は素晴らしいと思うが、盛りだくさんであり、職員の負担が心配である。効率よく進めるようにしてもらいたい。

④平成24年度及び25年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。意見があれば後日、図書館に提出することとした。

7 傍聴者 0名